

ぽれぽれ通信

国防族に認定!?
族議員って何だろう?

3・4月号
vol.45

自民党国防族に 実務派が誕生か？

自民党本部の朝は早い。国会開会中は、火曜から金曜に掛けてほぼ毎朝8時から部会の会議が始まる。月曜は、全国から東京に出てくる国会議員の移動日とみなされ、早朝からの

会議は開催しないことが慣例となっている。部会は、全ての中央省庁に対応できるように総務、内閣、厚労など14の部会がある。従って、毎朝、何かの部会は開催されている。現在、山本は、そのうちの二つである国防部会の部会長を務めている。ある日の朝、いつものように



職務への熱心さが 誤解を招く

党本部を目指して歩いていると複数の同僚議員から「おっ！実務派！」とか「山本さんも、いまや立派な国防族だね」などと声を掛けられ「え？なんのこと？」と返答すると「今朝の日経新聞を読んでないの？でかか」と書いてあったよ、「山本さんには☆印まで付いていたよ」とのこと。部会終了後、部会での議論の内容を山本は部会長として記者フリーフィングを行う。それが終わってから急ぎ国会事務所に戻り、日経新聞を確認すると「自民国防族、実務派が台頭」との大きな見出しとともに小野寺五典前防衛大臣や山本の名前が報じられていた。記事を要約すれば、「昨年12月に閣議決定した防衛計画の大綱の見直し論議で、防衛政策に影響力を持つ自民党国防族の実務派が台頭してきた。自民、

公明両党は、防衛大綱見直しに向けたワーキングチーム（WT）を結成し、議論を本格化させた。そのWT座長は実務派の代表格、自民党の小野寺五典安全保障調査会長だ。防衛

政策にかかわる自民党の主要ポストには、小野寺氏が昨年10月まで防衛相を務めたときの副大臣と政務官が並んでいる。国防部長の山本ともひろ氏は副大臣だった。安全保障調査会の事務局長も兼ねている。山本氏は神奈川県が地元で、菅義偉官房長官に近いとされる。政府側の司令塔は2013年12月に発足したNSC（国家安全保障会議）だ。NSCは首相、官房長官、外相、防衛相による枠組みだ。小野寺氏は直近まで閣僚としてNSCのメンバー。山本氏も防衛省の政務三役（大臣・副大臣・政務官）として最

新の機密情報に接することが可能だった。NSCの議論を把握しながら、与党内の調整を進められる。それが国防族で実務派が台頭してきた背景の一つだ」と記されていた。

自身の族議員化を 全否定する山本

ただ、山本は、自身が族議員であることを否定している。一般に、族議員は、特定の省庁や政策分野について人脈を築いたり、政策知識に明るかったりする中で、少なくとも三つの条件を満たさなければならぬと言われている。①当選回数、②役職経験、③役職遂行能力である。山本は、当選4回、防衛副大臣を経て国防部長であり、今までの役職は全て問題なく完遂しており、確かにこれらの条件だけで言えば、国防族と

言われても語弊はないだろう。一方、族議員の役割として指摘されるのが、自民党政務調査会を主な舞台としてフォーマル、インフォーマルにかかわらず、政策決定過程において強力な影響力を持ち、関係省庁、業界団体、利益団体の利益保護に影響力を持つことである。この利益保護に関しては、山本とは縁遠い話であり、自身の族議員化を全否定している。

では、なぜ自民党の中で、族議員が誕生したのか、それは、政策決定に影響力を持つとともに、関係省庁業界の利益代弁者の役割を果たすことによって得られるものがあつたからである。「フダと力ネ」すなわち選挙での支持（票）と政治資金の調達である。それらの利点が大きいと判断されていた「農林族」「建設族」「商工族」は族の御三家と呼

ばれていた。以前は、自民党の部会が所属できる部会は二つまでだった。まず、所属する院の委員会、例えば、衆院の文部科学委員会の委員になれば、自動的に党文部科学部会へ所属し、残り二つの部会を自ら希望することになっていた。御三家のような人気の部会は、多くの議員が所属をしていたが「フタと力ネ」が期待できなさそうな部会は人数も少なかった。

正しいことを したいだけ

話を山本に戻せば、「フタ」の面で考えれば、防衛の政務三役は、多くが自身の選挙区内に自衛隊の駐屯地や基地などを抱えているが、山本の地元には自衛隊施設は一切ない。これはかなり珍しいことである。では「力ネ」がどうなっているのか、と聞いて

山本が副大臣になる前から現在に至るまで、政治資金の調達が飛躍的に増えたという事実はない。ましてや防衛関連業界からのそれが増えているわけでもない。毎年、総務省に届け出ている政治資金収支報告書を見れば目瞭然だ。つまり、族議員が行う関係省庁業界の利益代弁者としての役割を果たしている。なので「フタと力ネ」は得ていない。山本は、彼らの利益保護に影響力を発揮したことは二度もないし、その気もさらさらしないの



▲国防部会で議論をリードする山本

である。ただ与えられた立場で所懸命に職責を全うしてきた結果として、国防族の実務派と称されただけなのである。加えて、今は部会も所属制を廃し、各議員が興味のある部会に自由に出入りできるようになっている。山本は、教員免許を持っていることやボイスカウト活動で青少年を指導する経験などにより文部科学委員会に属していた期間が二番長く、文部科学大臣政務官も経験している。ならば文教族か、と言われそうであるがこれも「フタと力ネ」が関わらない議員にとつての現世利益を生み出さない分野である。ある先輩議員から「山本君は、力ネにも票にもならないことばかりやってるな」と言われたことがあるそうだ。その時、山本は「正しいことをしたいだけなんです」と答えたそうだ。



ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

今回お伺いしたサークルは 「一般社団法人鎌倉馬のいる街プロジェクト」



第6回は、「一般社団法人鎌倉馬のいる街プロジェクト」を紹介するぞ。鎌倉といえば武家文化、武士に欠かせない相棒は馬! ということで、この団体は馬を通して地域交流の場の提供を目指すとともに、市民の健康、伝統文化、教育に寄与する活動をしているんだ。アニマルセラピーという言葉聞いた事があるかい? 動物と触れ合う事でストレスオフをして、精神的な健康を回復させる方法なんだが、その中でもホースセラピーの

役割は絶大なんだ。心理面の効果はもちろんのこと、乗馬を通じて筋力強化や姿勢の改善が出来る。身体的効果以外にも、馬は適切な指示を伝えないと歩いてくれないからコミュニケーション能力を養ったり、飼育管理を通して責任感を培ったり、教育効果も高いんだ。動物のいる場所には自然と人が集まる効果を利用して、地域の交流を活性化! 興味があれば一度馬たちに会いに行ってくれ。次回は3/30鎌倉市立植木小学校だ。詳しくは下記 **検索** してくれ。馬と共に社会貢献活動なんて、鎌倉らしく粋だぜ!



お問い合わせ先

一般社団法人鎌倉馬のいる街プロジェクト
<https://www.kamakurahorse.org/>

鎌倉 馬

検索





駅で「ぼれぼれ通信」を お配りしております 駅頭活動報告

「ニュース観ました。

大変でしょうが頑張ってください」

「テレビに映っていましたよ」

「国防部長、お忙しいでしょ。頑張ってください」

などなど今日も多くの方々に激励頂きました。

皆様、誠にありがとうございました。

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぼれぼれ通信」配布数

1月・2月集計分

駅名	1月	枚数	2月	枚数	前月比
逗子駅	7日(月)	510	1日(金)	492	⇒
新逗子駅	8日(火)	352	4日(月)	341	⇒
鎌倉駅(東口)	9日(水)	392	5日(火)	346	↓
鎌倉駅(西口)	10日(木)	397	18日(月)	393	⇒
大船駅(西口)	11日(金)	483	7日(木)	423	↓
大船駅(モノレール口)	15日(火)	387	8日(金)	447	↑
大船駅(東口)	22日(火)	353	13日(水)	* 73	↓
大船駅(笠間口)	16日(水)	479	12日(火)	517	↑
本郷台駅	18日(金)	371	14日(木)	399	↑
港南台駅	21日(月)	173	15日(金)	254	↑
	1月配布合計	3,897	2月配布合計	3,685	↓

※この日は急な雨のため駅頭活動は途中で中止となりました。

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter
@ty_polepole



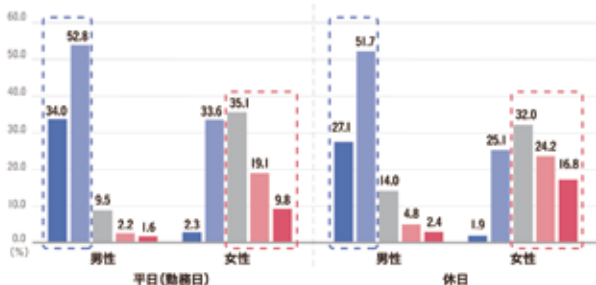
facebook
facebook.com/ty.polepole

働く女性のストレス性疲労と家事分擔

全国14万人を対象に行った調査のデータを基に、様々な分析・研究を進めている。今回は「家事に費やす時間」とストレス性疲労の関係に着目した。

平日休日・男女別 家事時間

■ほとんどない ■～60分程度 ■1時間以上2時間未満 ■2時間以上3時間未満 ■3時間以上



※メディプラス研究所調べ。

上記グラフは、既婚有職者の家事時間を比較したものだ。家事を「ほとんどない」「60分未満」を合わせると、男性の8割ほどは平日・休日共に1時間も家事をしていない。平日と休日の家事時間を比較すると、男性には大きな差がないにもかかわらず、女性は休日の「2時間以上」「3時間以上」の割合が顕著に増えていることが分かる。

また、このデータを子どものあるなしで分析すると、子持ち男性より子どものない男性の方が家事時間がある。長く、子どものない女性より子持ち女性のほうが家事時間が長い。子育て、介護などを抱えながらも共働きの家庭は多いが、家事の分擔は残念ながら偏ってしまっているのが現状だ。生産性を成長させるためには、女性の安定した労働環境を整える必要がある。結婚や育児というライフイベントがその妨げとならないようサポートするのは、他ならないパートナーや社会の仕組みの役割であり、早急に対応すべき大きな課題と言えるだろう。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任

自由民主党 衆議院議員(4期 10年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ
43歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成31年(2019年) 3月1日発行 第45号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。